


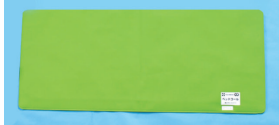




ポイント③検知の仕組みを理解して、センサーの種類を選択！

離床センサーの検知には、センサーを踏むとコールする「加圧式」、センサーから起き上がるとコールする「除圧式」、その他、「赤外線」など複数あります。それぞれの検知のしくみと設置位置を理解しておく、「知らせてほしいタイミング」に適したセンサーを選びができます。

<p>①加圧式センサー</p> 	<p>●センサーに一定重量以上の荷重がかかると作動</p> <p>キーワード：「立つ」「踏む」「乗る」「握る」「通過」「徘徊」など メリット：設置が簡単で、製品から運用イメージがわかりやすい デメリット：センサーが消耗する 設置場所：ベッド、ベッド周り、出入り口など 当社製品：コールマット、サイドコール、タッチコール</p>	 <p>コールマット・コードレス</p>
<p>②除圧式センサー</p> 	<p>●センサーにかかっていた荷重がなくなると作動</p> <p>キーワード：「起き上がり」「立ち上がり」「腰を浮かす」「徘徊」など メリット：設置が簡単で、運用イメージがわかりやすい デメリット：センサーが消耗する 設置場所：ベッド、椅子・車椅子、トイレなど 当社製品：ベッドコール、座コール、トイレコール、ピローコール</p>	 <p>ベッドコール・コードレス</p>
<p>③赤外線センサー</p> 	<p>●赤外線照射エリア内での人の動きをキャッチして作動</p> <p>キーワード：「起き上がり」「立ち上がり」「通過」「徘徊」など メリット：設置位置を変える事で、①②で検知する行動を1機種で検知可能 対象者がセンサーに触れないので、センサー部分の消耗の不安がない デメリット：赤外線の照射エリアが目で見えないため、慣れるまでに設置に時間がかかる。 設置場所：ベッド、ベッド周り・出入り口・トイレなど 当社製品：赤外線コール、赤外線トイレコール</p>	 <p>赤外線コール</p>
<p>④その他 (他社製品)</p>	<p><クリップ式センサー></p> <p>●対象者の服の襟や裾などに取り付けられたクリップ式センサーが外れると知らせる キーワード：「起き上がり」 メリット：設置が簡単 デメリット：対象者が気づき、センサーを外すことがある 一見拘束に見え、家族に不評</p> <p><ペンダント式センサー></p> <p>●対象者に発信機能付のペンダントを携帯させ、検知エリア外に出た事を知らせる キーワード：「離院」「徘徊」 メリット：設置が簡単で、離院防止に効果的 デメリット：対象者が気づき、センサーを外すことがある</p>	<p>NO IMAGE</p>

ポイント④ メーカーを選ぶ ～販売店さんに製品以外の評価を聞いてみましょう～

カタログやホームページには、製品の価格や仕様などは掲載されていても、「耐久性」「使いやすさ」「アフターフォロー」などの情報は、実際に製品を購入して経験してみないと分かりません。

購入した後に「価格は安かったけど、使いづらいすぐに壊れる」「修理に出しても、何ヶ月も商品が返ってこない」なんて経験は誰でも避けたいですね。製品の品質や機能はもちろん、購入後の修理対応などのメーカーのフォロー体制もセンサー選択の重要なポイントとなります。

そこで、是非頼りにしていただきたいのが、離床センサーを取り扱っている「販売店」さんです。販売店さんは、ユーザー様とメーカーの間に立っているので、「壊れやすい」「使いにくい」など製品に対する評価はもちろん、対応の良さや早さなど、「サービス」に関する情報もお持ちです。それらの情報を活用して、病院・施設様のご要望に合った製品を紹介して下さるはずですよ。購入した後に後悔しないように、離床センサーを選択する際は、出入りされている販売店さんに製品以外の評価を伺ってみるのも良いかもしれません。



目からウロコ

意外と知られていない、ベッド周り以外でのセンサー活用法

転倒・転落以外の危険行動を知らせるために、
離床センサーが活用されている事をご存知ですか？

山梨県のS病院様では、トイレなどの水が飲める場所に「水中毒」の患者さんが立ち寄ったことを知らせるために「ハイパーマット・ハイパー」を設置しています。
 「水中毒」というのは、その名の通り水を過剰摂取してしまう中毒症状で、水の過剰摂取により体内のナトリウム濃度が低くなり、濃度が一定以下に達すれば致死の危険性があります。水中毒は精神科に入院されている方にみられる症状のようですが、精神科病棟ではコード類が患者さんにとって危険な場合が多い為、病棟にナースコール設備を設けていない事があります。
 「ハイパーマット・ハイパー」は、業界初のセンサー周りに一切コードが無い専用受信器タイプのコードレスセンサーなので、そんなナースコール設備が無い精神科病棟はもちろん、入退室を知らせるために部屋の出入口に設置するなど配線不要の手軽さからベッド周り以外でもご活用いただいています！



業界初！コードレスセンサー
ハイパーマット・ハイパー

次回は、今秋発売予定の新製品が登場します！お楽しみに！